

福田川崎市長のセンター施設の視察について(報告)

令和7年2月14日
公益財団法人日本食肉流通センター

2月7日午前に福田川崎市長をはじめとする川崎市の9名の皆様がセンター施設を視察されました。

当日は、センター出店者の株式会社コーシンを中心に視察を行い、三留社長及び柿崎専務、福田工場長から説明を受けました。



センターF棟の枝肉冷蔵庫。
最上級和牛A5、1頭500kgを超える大きさに
皆様から驚きの声が上がりました。

(下の写真)

F棟の枝肉加工室では、実際の枝肉分割を目の
前にして多くの質問がありました。

分割した肉は、熱水・冷水でピツタリ（シュリ
ンクと言います。）とラップされて衛生的に流通
します。



施設視察の後は、福田市長をはじめとする川崎市職員の皆様とセンター役職員、株式会社コーシンの皆様とで会議室に移動し、意見交換をしました。

まずは、川合センター理事長からセンターの概要と歴史を説明し、昼食を取りながら、意見交換をしました。

限られた時間ではありましたが、センターからの食肉流通や販売・配送エリア、エサ代高騰等の畜産・食肉を取り巻く情勢など幅広い意見交換が出来ました。



昼食を取りながらの意見交換、福田市長は、もちろん「サーロインステーキ」をご注文。



中央が福田市長、その右が（株）コーシンの三留社長、左が川合センター理事長。逆光となってしまう、申し訳ありません。